



第43回 夕張川流域会議

- 日時：令和5年2月16日（木）10：00～12：00
- 場所：南幌町「ぼろろ」

第43回夕張川流域会議は、前回視察したショウドウツバメ営巣地对岸の川づくりについて意見交換を行いました。近年、当該地は土砂堆積と樹林化が進んでいるため環境学習や川下り等の河川利用に支障がありました。意見交換では、洪水を安全に流す川幅を確保すると同時に出水時に河原の上を水が流れて樹林化を抑えるように少し掘削する方法が検討されました。※議事録要旨は、江別河川事務所 HP「夕張川流域会議」参照



魚道学習～栗山小の総合学習

- 日時：令和4年9月1日、9月5日
- 場所：栗山小学校、栗沢頭首工魚道

栗山小では、総合学習の時間を使い魚道を題材に川の学習を行っています。1日には、ハサンベツ里山計画実行委員会の高橋氏が講師となり、地域住民が取り組んできたいい川づくりやサケマス回帰活動の経緯と農業施設としての頭首工の役割等について話がありました。魚道学習当日は、増水で魚道内に入れませんでしたが周辺を散策しながら植物や昆虫の話を聴きました。前日に準備しておいた魚を水槽に入れてその魚の生態、特徴等を学びました。魚に触れることができるタッチングプールは大人気でした。



事前学習の様子



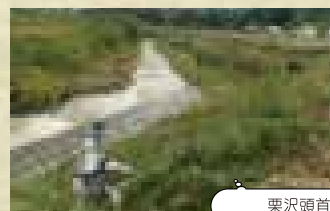
魚道での学習の様子：タッチングプール、魚道周辺の散策、魚の解説



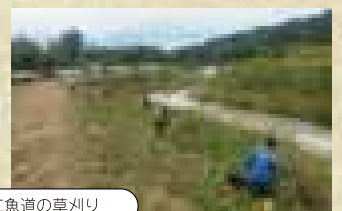
雨煙別川の河川清掃&魚道の草刈り

- 日時：令和4年9月3日 午前：河川清掃 午後：草刈り
- 場所：雨煙別川中央橋付近と栗沢頭首工下流

魚道の整備以来、サケマス回帰活動に従事する地域の団体（夕張川自然再生協議会、栗山JC等）は、魚道の草刈りを実施しています。今年は栗山小の総合学習（9/5 魚道学習）に備えての準備となりました。雨煙別川の河川清掃は、魚類調査と産卵適地の整備（砂利原の掘り起こし：産卵しやすい場所づくり）も併せて行われました。



栗沢頭首工魚道の草刈り



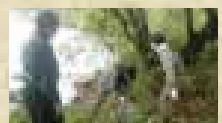
雨煙別川の清掃&産卵床づくり



魚道環境整備とサケマス遡上観察会

- 日時：令和4年9月19日
- 場所：栗沢頭首工魚道

上記のイベントに引き続き、魚道周辺の清掃と草刈り、サケマス遡上観察会が実施されました。お陰様で魚道周辺は、とてもきれいになりました。（魚類の遡上は、増水で見れませんでした。残念！）



栗沢頭首工魚道の草刈り、川の清掃

夕張川クイズ

Q 夕張川に生息する左の魚の中で、元々北海道にいなかった種は？



①▷ドジョウ



②▷コイ



③▷フナ（ギンナ）

答えは裏面最下欄をご覧ください

サクラマスが帰ってきました！

●日時：令和4年9月29日 場所：夕張川支川

サクラマスの産卵床づくりを確認しました。オスは50cmを超える大きさと赤い婚姻色が出ていました。メスは尾びれで産卵床をつくり数回産卵、産卵後は砂利を被せて卵を守ります。



尾びれで産卵床づくり 左がオス、右がメス

夕張川の生き物たち ヤツメウナギ

ヤツメウナギは、近年、漁獲量が激減し、非常に貴重な魚になっています。魚と書きましたが、脊椎動物の中で顎のない種（円口類、無顎類）に属し、魚類には属さないという見方もできます。頭部のエラ穴と目を合わせると八つになり、ヤツメウナギと呼ばれるようになりました。（写真①）吸盤状の口（写真③）は強い吸引力がありで他の魚に吸い付きその体液を吸います。（写真④）スナヤツメが海に下らない淡水型であるのに対して、ヤツメウナギは海で2～3年程度過ごし、川に入り2年程度で成熟し産卵します。生息するには、瀬、淵、溜りのある多様な河川環境が必要で、夕張川をいい川にする指標の一つになりそうです。



写真① 頭部



写真② 尾びれ

ヤツメウナギは黒色、スナヤツメは白色で区別

写真のヤツメウナギは清幌床止めで採取



写真③④ 吸盤状の口



川遊び入門 ～川の自由使用について

川では、釣り、バーベキュー、自然観察、ボート・カヌー等、いろいろな楽しみがあります。基本は自由使用ですが、長期間、一定の場所を使用する場合、大人数で使用する場合などは、届け出（占用許可）が必要なこともあります。事前に河川管理者※に相談しましょう。川はルールを守って使しましょう！

※河川管理は、河川によってまたは河川の区間によって国、道、町の管理に分かれています。



河川の占用許可の標識

川と生活

～川と水路と運河

夕張川流域には、たくさんの水路と川、そして2つの運河（馬追運河、幌向運河）があります。川、水路、運河を辞書（weblio 辞書）で調べると、①川（河川）：雨などの自然の水が集まり陸上のくぼみを傾斜に沿って流れ下る水路、②水路：水の流れるみち、用水を流すためのみち、海、河川、運河など船舶の通るみち、プールで競技者が泳ぐ部分を定めたみち、③運河：給排水、灌漑、船舶の航行などのために陸地を掘り開いてつくった人工の水路と、説明されています。私たちは①の川を利用して、②や③を整備して今の地域社会を築いてきたわけです。開拓時代に2つの運河が整備されたことからわかるように同流域は河川利用の先進地としての歴史を持っています。河川利用で私たちの生活が成り立っていることを忘れずに改めて川（水）に感謝したいものです。



幌向運河
（南幌町～旧夕張川～千歳川）



馬追運河
（石見沢市栗沢町方面～千歳川）



馬追運河
（長沼町～千歳川）

発行：夕張川流域会議事務局

江別河川事務所：〒067-0074 江別市高砂町5 電話 011-382-2358
夕張川ダム総合管理事務所：〒068-0546 夕張市南部青葉町573 電話 0123-55-5151



夕歩道バックナンバーは、ホームページをご覧ください。「夕張川流域会議」で検索